

えでぴん

立川と語ろう 立川に生きよう

December 2014

Écoutez Bien Vol.33 No.361

12

立川の吸引力!



山中めがね橋 ①

初代「めがね橋」
——土台煉瓦の出現



立川村十二景より(資料提供: 立川市歴史民俗資料館)

立川村十二景に『中央線山中眼鏡橋』がある。立川村十二景とは立川市指定有形文化財のひとつで、旅館「あづまや」の主で郷土画家の馬場吉蔵さんが描いた明治初期立川の象徴的風景。その1枚にあるこの「めがね橋」は明治22年、甲武鉄道開通に際して架けられたものだが、どれだけ探してもこの橋の写真が見つからない。二代目めがね橋への架け替えが中央線の複線化(昭和12年)の時であるから、工期を考えても昭和10年頃までは残っていたはずなのに、である。煉瓦でできた初代めがね橋の姿はこの立川村十二景の絵から想像し、二代目めがね橋のたもとに残る煉瓦積から往時を偲ぶばかりだ。

土の橋は積み上げた赤い煉瓦で側面を固められ、単線を通す掘割が遠眼鏡のようだったところから「めがね橋」と呼ばれたそう。柴崎町の辺りは立川段丘の上にある平地で、鉄道が八王子まで延びるには多摩川を渡らねばならず、多摩川鉄橋との高低差を埋めるため、根川べりまで切土していった。掘削で出た土は、段丘下の低地に運び盛土してその上に線路を敷いたのだという。

2009年7月。当時、二代目めがね橋から三代目めがね橋への架け替え工事をしていた建設会社から、「もしかすると初代めがね橋の土台煉瓦が出てくるかもしれない」との連絡を受けていた。掘削を進めなければわからないということだったが、果たしてその日はやってきた。JR 八王子支社に立ち会ってもらい、建設会社と一緒に掘削作業中の現場に下りると、そこには長い間土の中で眠っていたとは思えないほど明るくきれいな煉瓦が、水に洗われその姿を現していた。華やかな赤い色、218ミリ以上という長さや刻印から、日野煉瓦であることが改めて確認された。1889(明治22)年7月の甲武鉄道、立川―八王子間竣工からぴったり120年後のことだった。

初代めがね橋の橋脚を支えてきた煉瓦の土台。立川以西、八王子、高尾、山梨との往来には鉄道で、柴崎町から富士見町への行き来には徒歩なり自転車、50年近い月日、人を渡してきた橋。竣工と同じ月に出現したことに、声なき声が聞こえるようで、工事関係者からも壊すのが忍びないとの言葉が漏れた。

昭和12年、鉄道が複線化されるにあたり、めがね橋もその姿を変えることになる。煉瓦の橋もモダンだったが、二代目めがね橋は、当時流行りのレール橋。英国製レールをつかった二代目めがね橋については、次号の「続・蔵出し立川」最終回でお話しよう。



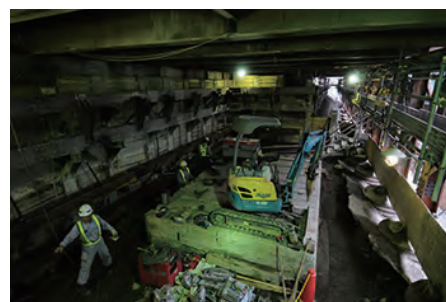
長手だけの段、小口だけの段を交互に積みイギリス積みだったことがよくわかる。当時フランス積みより強度が高いと言われていた。



掘削すると、土台が当時のままに現れる。



線路の西側の工事現場で煉瓦の土台が見つかった。



工事現場に潜ってみると…。写真右側の明るいところが線路。土の中から所々煉瓦が覗いている。



煉瓦の上にあるコンクリートは、二代目めがね橋の土台のようだ。



煉瓦の大きさと日野煉瓦だとわかる。

立川の吸引力

立川にしかない魅力です。

立川が昭和づいている。それも昭和30年代。

外側からどんな風に見えるのか、立川の昭和に惹かれた人に、聞いてみた。



小川 優 さん

昭和38年生まれ。神奈川県在住。公務員。

趣味はジオラマ作り。目下の悩みは、『立川の風景 昭和色アルバム』(発行・けやき出版)の表紙になっている「Cabaret Monaco」が実際にはどこにあったかということ。巻末の地図には確かに位置が指定されているが、それが本当の位置であったかどうかを知りたい、そうだ。

——今、国営昭和記念公園 花みどり文化センターに展示されているジオラマは小川さんがお作りになったものですが、小川さんは立川の昭和30年頃をご存知なのですか？

小川 いえいえ。私は昭和38年生まれですから(笑)。

——ですよねえ(笑)。では、このジオラマは写真から？

小川 郷土資料集や写真集、いろいろな写真を参考にして作ります。驚くのはネットで検索すると、結構海外のサイトがヒットして、当時立川に駐留していた米兵によって撮られた写真が

表示されます。これがまた、劣化のないカラー写真なんです。

——なるほど。いつからこういったご趣味をお持ちなのですか？

小川 もともとは鉄道模型です。150分の1の模型を作っていましたが、その後こうした街並みを作るようになって、有楽町や鎌倉の長谷のジオラマを作りました。いつのまにか電車よりも面白くなって。

——街並みの魅力ってなんでしょう？

小川 なかなか一言では言い表せないのですが、わずかな資料から、建物は現存しないけれど、道の交差の仕方などから位置関係を推察して、写真しかなかったものを立体にして再現するのが面白いというか。ただ建物を作るだけではなくて、その過程が面白いですね。再現するためにはやはり調べなければならない。建物を作るにはそれほど時間はかからないのですが、実際には調査、レポートにその何倍もの時間がかかっています。

——有楽町や鎌倉の長谷と、立川に違いはありますか？

小川 有楽町を作った時はまだバブルの頃に地上げ前の古い建物が残っていましたし、長谷は今でも意識して古い建物を残している街並みなので、どちらも実物を見て再現することができました。立川の場合はそこが大きく違って、街並みそのものが日進月歩で変わっている。——立川の変化はとても速いですからね。

小川 まったくその通りで、実物を見て作ることができません。今も時々立川まで遊びにというより調べに来るのですが、その度に「ここにあったものがもうない」という状態で。それこそもっと写真を撮っておけばよかったと思うことがあります。後からだ記録のしようがない。それがまた原動力というか製作意欲になって、「今のうちに早く作らなければ」と思うんです。銀座

通りを作り始めた時などは本当にそうでしたね。早く作れるところまでは作ってしまうと。

——第一デパートはご存知ですか？

小川 魚屋の澤田屋さん、日の出屋さん、四つ角飯店さんまでは自分の記録にありますので、その記録で作っています。必要な構図で写真が撮れていますから、図面を引くのも再現するのもしやすいです。

——それ以外は想像で創る。

小川 ええ。逆にいうと、作りようがないものは作れないので(笑)。地図を正確に再現するのは無理なんです。断片的な資料からいくつかの建物をピックアップして街並みを作っていくイメージですね。街の正確な再現ではありませんが、ジオラマを見て、実際に当時を知っている方々が昔を思い出さきっかけになってくれたら、それは作った者としては無上の喜びですね。——壽屋さんの並びの百貨店も想像ですか？

小川 それこそ「写真集 たちかわ」を見て…。——え？「写真集 たちかわ」？ えくてびあんの愛読書ですよ。でもあの写真はクリアではなかったですよええ。 壽屋さんなんて見えるか見えないか、伊勢丹の看板がちらっと見えたりして…。

小川 はい(笑)。あの写真から位置関係とかパースで建物の高さとかがわかるので、だいたいのことをつかんだ上で、他の角度の写真やいろいろな資料を突き合わせて、最後は推察になります。

——基地の南側が国立立川病院。その正門前にあったルーテル教会。入口前に並んでいる人々も、手作りですか？

小川 いえ、既製品です。こういった技術は日本より海外の方が進んでいて、ここに並べた人形はドイツのものです。教会の屋根は建築模型の瓦屋根ですね。本当は銀座通りの北側の街並みを作りたいのですが、資料が乏しくて



作れなかったんです。資料がより多くあったのが、立川病院の前の通りだったので、そちらを再現しました。写真があれば、昭和ホテルさんとか、それと昔あの辺りに銭湯があったんですかね？「曙湯」とかいう…。

——えくてびあんよりずっと詳しい…。(笑)。

小川 その辺りの資料があれば、あと、産婦人科の井上病院でしっけ。写真があれば再現できるのですが…。そこができれば、その先に例の映画館、セントラルさんなどを3軒並べたいなどは思っています。写真をお持ちの方がいらしたら見せていただきたいですね。

——そうですね。それにしても、う～ん、「写真集 たちかわ」も、立川印刷さんの「立川の風景 昭和色アルバム」2冊、日野市の高木さんがお撮りになった「カウウォッチング 立川」も、全部それらの本をお持ちなんですか？

小川 ええ、本棚一列、全部立川の資料です。——すごい!えくてびあんが借りたいくらいです。

小川 いやいや、御社にあるのと同じくらいです。でも、ひとつの街でこれだけ写真集があるのも珍しいと思います。それこそが立川の魅力を表しているのだと思います。写真を撮る文化があった、撮る人がいた、そしてまた撮った写真を成文化する人がいた。個人の写真1枚1枚は散逸してしまうものです。それを記録として本の形にしておくというのは、非常に大きな文化だと思います。

——そうですね。外の方からご覧になって、立川が一番面白いのは昭和30年代ですか？

小川 アメリカナイズされて混沌としていた時代ですよ。当時ここに生活していた方にしたらあまり語りたくない時代かもしれませんが、俗な表現をすれば興味の尽きない時代ではあります。当時から立川は日本人もたくさん住んでいたけれど、外国人もたくさん住んでいて、いわば国際都市でした。ジオラマはそのひとつの場面を切り取っています。日本人がたくさん

買い物をしている銀座通りでありながら、アメリカ人もいて、アメ車が走って、高木さんの車の写真をご覧になると、もうそこはアメリカにしか見えない。そんな二面性というか多様性というか、立川らしい、他の街ではあり得ないものを立川は持っています。

——壽屋さんなんて、「TOY RESORT KOTOBUKIYA」ですもんねえ。ジオラマの中に人も車も配置されていますが、いろいろな服装ですね。

小川 はい。もしかすると新しい文化は立川から飛び出したものも多いのではないかと思います。ジーンズにしてもジャズにしても。若者の文化は立川が呼び寄せて、立川から発信している。すべての窓口であったわけです。実際、普通の街の昭和30年代にはあり得ない景色が立川にはありました。ジーンズ着てたり、ジャンパー着てたり。それを再現することが立川らしきさんですね。国産車と外車が混じりあっていると。

——他の街で昭和30年代を再現すると…。

小川 どこも同じ「三丁目の夕日」になってしまうんです。

——ですね。ところが立川には独特な立川らしさがある。昭和30年代とおっしゃいますが、

正確にはいつの設定ですか？

小川 少し幅があります。資料写真に幅があるからです。駅前に高島屋ができる前で、昭和39年のタンク車事故の前ですから、昭和37～8年が中心でしょうか。

——今は羽衣町にいらっしゃる肉の久保田さんなんて、「うちは曙町にいたんだよ」とおっしゃっていたから、再現されて懐かしいんじゃないかなあ。ところで銀座通りのアーケードが再現されていませんが…？

小川 はい。店先という一番大事なところをアーケードで隠してしまうことはできないので、今回は再現していません。本来は駅から四つ角飯店までアーケードになっているのですが、あのアーケードは昭和28年に設置され、あの距離のものは日本初と言われています。そしてもうひとつの特徴が、街灯がネオンだったということです。

——おお～!ますます立川ですね!

小川 夜景の写真を見るとよくわかるのですが、ネオン管で絵を描いていたようですね。商工会の記念誌によると昭和34年に設置されたとあります。

——第一デパートには入口が東端と西端の2か所にありました。あれはアーケードが無くなっても、通る人が雨に濡れないで歩けるようにお店の中を通すというコンセプトだったようですね。よく使わせてもらいました。

小川 そうだったんですか。それは知らなかった。

——いやいや、ひとつくらい小川さんより知っていることがないと、えくてびあんも困ります(笑)。今後はどのように立川の街づくりを進めるのですか(笑)？

小川 駅前から西方面銀座通りを作りましたから、今度は東方面を、そしていずれは南口を作っていこうと思っています。写真を提供していただけますと、本当に助かりますので個人の方のお写真でも、ご連絡いただけたらありがたいです。



小川 優氏 撮影

走る、走る、ひまわり号 君をのせて、みんなを乗せて

FRIENDSHIP TRAIN

横浜こどもの国へ行って来た！

旧国鉄時代に始まった取組みが
立川では、今年21回目の実施を迎えました。
多くの力が集まって、みんなが楽しい1日でした。

ひまわり号の「ひまわり」は、きれいで明るい花の名前でもあります。もうひとつ意味があります。それは「日ごとに回る」という意味です。旧国鉄時代、国鉄の労働者たちが自分たちの明け番を使って障害のある方々を日ごとと順番で、病院のお風呂に連れていったことに由来します。当時は今のよう介護福祉が充実していた時代ではありません。このお風呂がどんなに気持ちよかったです。お風呂の次は何をしてみたいかと尋ねたら、列車に乗って旅をしたい、と。列車なら、自分たちが動かせるじゃないかと、障害のある方たちを乗せて「ひまわり号」が初めて走ったのが、1982年11月3日でした。行く先は、上野から日光まで。なぜ日光かって？ それにも理由があります。32年前のことですから、駅はまだバリアフリー化されていません。そんな時代、皇族の方が訪れる地であることから、日光はすでにバリアフリーだったのです。

さて、立川でもその取組みをやりましょうと、現在のスタッフが21年前に立ち上げたのが、「ひまわり号を走らせる立川実行委員会」。えてびあんも今年も参加させていただきました。ここまで来るにはどれだけの苦労があったかなと思いつつ、いつのまにか、自分も楽しめてしまうこの取組み。本当にすばらしいと感じ、長く続くことを願って豊かな時間を過ごさせていただきました。



JR立川駅に7時に集合。助役さんやサービスマネージャーの方々が改札、乗車の協力をしてください。



この日だけ立川駅に乗り入れる横浜線車両！団体列車のダイヤを組んでもらったんですね。



立川から長津田まで、乗車時間はぴったり1時間。車内ではボランティアの皆さんの中から選ばれた班長さんが打ち合わせをします。



わからないことは
黄色いジャンパーのスタッフにききます。



スタッフの中には医療班もいて、お医者さんや看護師さんが同行します。仮設トイレも持って行きます。



実行委員会のスタッフたちもそれぞれの役割を確認、念入りに打ち合わせをします。



長津田からこどもの国線に乗り換えです。いいお天気の日曜日。一般のお客様も一緒ということで、東急電鉄のご協力で臨時列車が2本増発。



10班に分かれてこどもの国の中を目的地に向かって歩きます。



こどもの国に着きました。目的地は野外炊事場。今回のテーマは体験型イベントです。



結構きつい上り坂。車いすは押すだけでなく前で引っ張るといいそうです。



ひまわり号を走らせる立川実行委員会のみなさんです。



薪を割り、火を起こすところから始めます。



とん汁ができて、みんなでお昼ごはんです。おいしかった～。



列車の中では班ごとに楽しみます。飾りつけもきれいです。



みんなで作ったとん汁。



鍋洗い。これが一番大変でした。なかなかこどもの国の係の方からOKが出ない。えくてびあんは4回洗い直しになりました。いえいえ、ちゃんと洗ったんですよ！

FRIENDSHIP TRAIN ひまわり号

主催 ひまわり号を走らせる立川実行委員会
後援 立川市・立川市社会福祉協議会
立川市障害者後援会
協力 立川相互病院・ボランティアグループ「きらら」
東日本旅客鉄道株式会社・JR立川駅・東急電鉄

えくてびあんの輪	
えくてびあんはリストのお店にあります。 今月は 幸町・若葉町・栄町 高松町・曙町 のお店です。	
幸町	(株) 松浦商事 …………… 536-6001 江戸前・富山の魚と酒 緑寿司 536-4800 至誠キートスホーム …………… 538-2323 とんかつ・割烹 かつ亭 …………… 535-4611 ドイツ製法ハム・ソーセージ工房 535-5009 和洋菓子 たちばな …………… 537-0347 BS タイヤショップ 佐藤商会 537-0912 在宅療養支援診療所 立川在宅クリニック 534-6964 古楽の小屋 ロバハウス …………… 536-7266
若葉町	レストラン サラ …………… 534-0602 リヲ美容室 …………… 536-3048 浅見内科医院 …………… 537-0918 スーパーヤオコー …………… 538-1711 まんまる助産院 ひまわりハウス 534-9877 ありた整骨院 …………… 534-1622 カフェ タイニーガーデン ……507-1346 カフェ・レストラン てくたく 536-5788
栄町	たましん 栄町支店 …………… 536-9711 いなげや 立川栄町店 …… 523-7201 ニュースサービス日経 立川中央 522-4507 チーズ王国 本社 …………… 513-4101 ふくくるだいにんぐ …………… 521-0482 高橋酒店 …………… 522-4479 彩食中華 須崎 …………… 507-0981 寝具の石川 …………… 524-1333 手作りパン工房 Bonheur ～ポール～ 536-3207 FUKUSHIMAYA 立川店 534-1700 相模屋酒店 …………… 536-2476 メンズカット ヤザワ …………… 536-8738 森田接骨院 …………… 535-6240
高松町	丸助青果店 …………… 522-3542 米穀・食料品 横町屋 …… 522-2609 中華料理店 太幸苑 …………… 527-0906 不動産・賃貸・店舗情報 まどか 527-7377 セイロン風カリー シギリヤ 507-2418 ふじ整体院 …………… 540-9155 ライブハウス Crazy JAM 529-9507 創業家 ほしの …………… 521-1170 レストラン いなつき …………… 528-1470 ライブ喫茶 炭火煎珈琲はるもにあ 521-2959 立川湯屋敷 梅の湯 …………… 522-3800 ヘアサロン イトウ …………… 522-6281 立川伊勢屋 本店 …………… 522-3793 書籍・雑誌 フレンド書房 …… 527-1555 サロン・ケベクア美容室 …… 527-4716 HAIR MAKES たしろ ……525-2175
曙町	うなぎ しら澤 …………… 524-5061 中華料理 福心楼 …………… 524-2343 久住ハウジング(株) …………… 527-8007 不動産 大晋商事 …………… 525-3110 はじめ治療院 …………… 526-3519 ヤマミュージックアベニュー立川 523-1431 蕎麦懷石 無庵 …………… 524-0512 TABACCONIST ゼフィルス 524-0514 ブティック ASHUTE VENI-VENI 521-1481 ビストロ シェ・タスケ …… 527-5959 あら井館総本店 …………… 522-2957 三田花店 ルミネ立川店 …… 527-5587 KIRIN COFFEE ルミネ店 527-2322 立川伊勢屋 ルミネ店 …… 524-3395

jorakugajo 真如苑提供番組「常楽我浄」	
スカパー！：529ch スカパー！で放送の常楽我浄は スマートフォンアプリ「ivy」（無料）で視聴できます。	
J:COM 多摩：111ch 放送時間については番組表をご確認ください。	
www.shinnyo-en.or.jp	

街の話題

今年もキリリと 自衛消防隊訓練審査会

10月9日(木)、少し雲のある空模様でしたが、暑くもなく寒くもない秋風の中、今年も市役所北側広場で自衛消防隊訓練審査会が開催されました。参加チームは男子隊が21、女子隊が8の合計29チーム。参加チームは同じでも、メンバーは入れ替えされています。企業イメージの向上につながるだけに、今年こそ!と皆さん優勝目指して意気上がり、応援団も大勢です。昨年までは駅員さんの制服で参加されていたJR立川駅チーム。なんと、今年はユニフォームを新調、男女とも足元は真っ白な地下足袋でした!「来年は地下足袋が流行りますよ!」とJRさん。ホントかな～



男子隊優勝 (株) 立飛ホールディングス

女子隊優勝 真如苑 女子

初参加のJR 立川駅 女子

一斉に町民運動会が行われました

10月12日(日)、薄曇りの運動会日和。立川市内では町民運動会が8か所で開催されました。どちらの会場も大盛り上がり。立川って元気ですね～!



バックに見えるのは各町会のボードです

パン食い競争です



トロフィーもしっかり準備されています

全員参加のウルトラトライズ

百足競争の真っ最中

初めての『街なかサイエンスカフェ』

10月8日(水)、国立極地研究所が研究棟を飛び出して、街中で地球の不思議をお話するサイエンスカフェ第1回目が国営昭和記念公園の花みどり文化センターで行われました。当日はちょうど皆既月食の日に当たり植物の話はもちろん、この皆既月食についても詳しくお話を聴くことができました。どうして月が赤く見えるのかとか、月ができたばかりの頃はこ～んなに大きく月が見えたとか、当時の1日は地球の自転がとても速くて2時間くらいだったとか、これからもどんどん月は小さくなっていつか皆既日食がなくなるのではとか、面白かったですよ!

今回は12月20日(土) 17時～18時30分まで。場所はシネマ2です。

皆既月食

10月8日(水) は皆既月食の天体ショー。18時過ぎから21時過ぎまで、皆さん空を見上げていたのではないのでしょうか。立川では雲間から時折ぼんやり赤い月が見えていました。写真は天体ショーが始まる直前の月です。テーマは「満月と立川駅」。

立川の夕焼け

10月10日(金)、立川の夕焼けはこんな色でした。



第91回箱根駅伝予選会

10月18日(土) 青空が高く広がる中、恒例の箱根駅伝予選会が行われました。自衛隊駐屯地をスタートし、市街地を通りぬけて国営昭和記念公園みんなの原っぱ西側でゴールする20km。時間差で交通規制をかけた道路を、独走で、あるいは集団で疾走していく選手たち。すっかり立川の秋の風景のひとつになりました。立川駅周辺の飲食店では「今日はなんだかすごくお客様が多くて…」とおっしゃっていましたが、沿道で応援していた方々が立ち寄られたのかもしれないね。

諏訪通り 灯籠ナイト

10月4日(土)、立川駅南口諏訪通りは、第一小学校のお子さんたちが描いた灯籠で風情ある雰囲気になりました。車両通行止めでゆったりと道路を歩く人々。行く先の諏訪神社では薪能が催され、秋の夜長を楽しむ皆さんでした。

おじゃまして～す! —— [32]

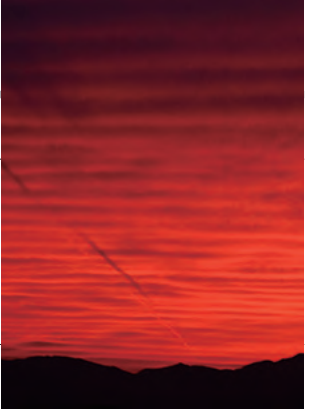
フランス風家庭料理 ラ・フランス

三つ星の高級フレンチではありません。流行りのカジュアルフレンチでもありません。「ラ・フランス」のお料理は、フランス風家庭料理なのです。この秋開店25周年を迎えました。オープン以来シェフがひとりで切り盛りしています。



フォアグラの洋ナシコンポート添え

クリスマスシーズンです。今回はディナーメニューから2品をご紹介します。じっくりとろ火で5時間煮込んだビーフシチュー。お皿が運ばれてくると、湯気と一緒にとってもいい匂い。生クリームのかかった大きなお肉はスッとナイフが入る柔らかさ。写真のシチューはバラ肉ですが、他にタンシチューもあります。もう1品はフォアグラです。フォアグラのソテーには甘い洋ナシコンポートがよく合うそうで、一緒に口に入れると濃厚さとサッパリが絡み合ってごちそうだなあと感じます。もちろんステーキもお魚もありますが、フルコースでも3600円、フォアグラコースで4800円とリーズナブル。フロム中武の北側、曙橋でおいしい夜を、どうぞ!



表紙の人

伊藤博さん、国治さん、悠生さん

木材業 伊藤商店の三代です。先代が錦町で創業し、長く諏訪公園の近くでお仕事されていたが、昭和52年から会社は根川沿いの富士見町に移りました。春には立川を代表する桜の名所、山中坂と言えわかりやすいでしょうか。ご自宅は今も柴崎町です。「僕が卒業する時、1小はブレハブだった」と悠生さん。中学では陸上部。お父さんの国治さんも1小父のご出身。車のディーラーから木材業界に戻ってきた時、職人さんたちの義理人情に慣れるのが一番大変だったとか。「うちの親父はね、金なんか残さなかったけれど人間関係を作ってくれた。それでやってきたようなもんだよ」と会長の博さん。最近は仕事の在り方も変わりましたが、それでも人と人のつながりは大切です。社長 国治さんの穏やかさがますます人の輪を広げていくことでしょう。



かたこと

毎秋、立川で開かれる箱根駅伝予選会。今年は48の大学が出場しましたが、箱根駅伝本戦に出場出来るのは上位10校のみ。立川の予選会を「箱根」と思って走る選手もいると聞きます。多摩でばこネットでは、前回の箱根駅伝でシード権を逃した多摩の大学に焦点を当て、取材をしました。どの大学の監督も、皆さん口を揃えてこうおっしゃいます。「予選会の緊張感は二度と味わいたくない」と。その言葉を聞いて、ここ数年シード権を獲得し、箱根駅伝に出場し続けている大学の監督が言われたことを思い出しました。「予選会の日 は、朝5時にはアップを始める。駅のそばで掃除をしている人の横を通っていくの。まだ暗くて、10月なのによけに風がひんやり感じて…。予選会は二度といや。でも立川のあのコースは選手たちに走らせておきたい。次はうちかもしれませんから」いつ何が起るかわからない箱根駅伝。早くもドキドキです。

そう! 予選会とほぼ同じコースを走る「立川シティハーフマラソン」のエントリー受付が始まっています。ハーフマラソン・3kmレースの締め切りは11/30(日)。箱根駅伝の選手と一緒に走る機会は、そうありません。我こそと思われる方はぜひチャレンジを! えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ⑧

12月号 第33巻 通巻361号

平成26年12月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL http://www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。



今年はグレードアップ、 いつもより美味しいクリスマス

立川グランドホテル（曙町）の『Chef's-Deli』が好評です。皆様のご自宅や会社にホテルシェフの味がそのまま届け嬉しいサービス。介護する方がいらしたり、お子様が小さくてレストランに行かれないなど、なかなかご自宅を留守にできないお宅が増えている今、我が家でゆったり気兼ねなく美味しい味を堪能できるなんて嬉しいじゃないですか。シェフズデリシリーズにはフレンチフルコースもありますが、クリスマスにはオードブル1セット（4人前）につきスパークリングワイン（ロゼ）が1本ついて 8000 円というリーズナブルな商品も。素敵な器に盛り付けられていますので、そのままテーブルにセットするだけ。味も雰囲気もバッチリです。実は今、バターがとても不足しているのだとか。市内のおいしいパン屋さんではみなさん「クリスマスはどうしよう」とおっしゃっています。シュトーレンやケーキがグツと高くなりそうな予感がありますが、そんな時、シェフズデリのオードブルで豪華さアップ、日常を離れたお味で楽しむのも一考ですね。

会社の会議やちょっとした集まりには、お弁当も注文できます。「ロースカツサンド BOX」はロースカツのサンドウィッチと野菜のピタサンドがセットになって、サラダとデザートもついた豪華でボリュームなひと箱、税込 1620 円です。私はやっぱりご飯とおっしゃる方には、「ローストビーフと彩り弁当」が用意されています。魚や野菜が白米と一緒に入って、こちらも美味しい 1620 円。

お届け対応エリアは、立川市、武蔵村山市、東大和市、昭島市、国分寺市、国立市、日野市です。配達時間は11時から18時。ご予約は2日前で、基本的にお弁当は 10 個からだそうですが、いずれも相談に応じてくださるようです。シェフズデリのお問い合わせは、立川グランドホテル 宴会営業課
TEL 042-525-1405 受付時間は10時から18時です。



オードブル4人前 この器にセットして届けられます。
スパークリングワインがついてきます。



ローストビーフと彩り弁当
1620円



牛カツロール弁当 2160円

富士山初冠雪

10月16日（木）、富士山が雪化粧しました。すっかり冬のような富士山の姿ですが、やっぱり富士山は、これ！ですね。

そして富士山からスツと目を北に向けると、きれいな虹がかかっていました。冬を知らせる初冠雪と大きな虹。美しい朝のワンシーンでした。

